



小学1・2・3年生のための 能力育成コース

11月生募集！



「イメージする力」を養い、
「9歳の壁」を乗り越える。



●「9歳の壁」を乗り越えるために「いま」育みたい力。

教育界でよく語られるのが「9歳（小4）の壁」です。
これは小4ごろから急に勉強についていけない子供たちが増えることによります。
その理由として挙げられるのが、学習内容の変化です。
低学年までは、丸暗記や単純計算など文字から直接つながる学習が基本となりますが、小4からは「分数」「小数」「あまりのある割り算」「文章問題」など、抽象的な問題が出てきます。
これらを理解するには、
自分の頭で考え「イメージする力」が必要不可欠になってくるのです。
いままでテストで満点ばかりだった子供が、
急に「分からない」と言い出すのも小4の頃です。
学校で始めてぶつかる壁ともいわれる「9歳の壁」を乗り越えるためには
低学年のうちから「文章や言葉からイメージする力」を養うことが大切です。



●低学年の子供たちは、楽しむことで能力が開花。

算数が「数量」と「図形」から成り立っているということは
言うまでもありませんが、最近の算数教育は数量偏重の傾向があります。
そのため、算数は抽象的で難しいものという印象を子供に与え、
算数嫌いや数学恐怖症を生む遠い要因となっています。
そこで、「数量」よりも具体性を持つ「図形」を重視し、
数も図形で数えられるような、図形学習の充実を図る工夫が必要です。
数理感覚を高め、数理的創造性を育てるには、
紙と鉛筆を用いて頭で考えて答えを出させる教育だけでは、不十分です。
算数を終始一貫して、手で確かめることのできる、
具体的な世界として子供に経験させること、
この数と図形の融合学習が後伸びする決め手です。

小学生の勉強内容は、中学・高校・大学・社会人の基礎学力となります。

出来るだけ早い時期から手厚い指導で、「わからない」をなくしましょう。
小学生の勉強は小学生の間に仕上げることを強くお勧めします。